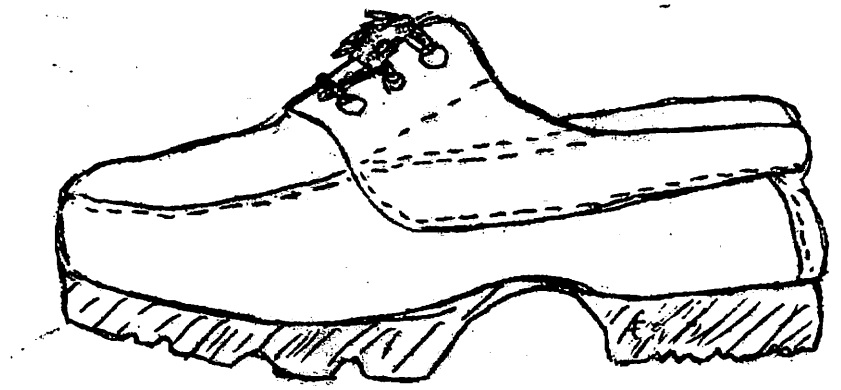


83年度

秋山個人山行
報告書



信州大学山岳会
S.A.C

--- ㄷ<ㄱ" --- ㄷ<ㄱ" --- ㄷ<ㄱ" ---

屏風岩 / 1ルニセ"	(2)
北几岳 稻子岳南壁	(2)
中ア 縦走	(3)
後立山 縦走	(4)
常来岳 幕岩	(6)
白馬三山 縦走	(7)
中ア 縦走	(8)
奥鐘山 西壁	(9)
大荒井沢	(12)
丸山東壁	(12)
屏風岩 / 1ルニセ"	(14)
明星山	(16)

屏風岩 1ルンゼ

L.タカリ, カドヤ

9/22 午後上高地に入り この日は
横尾の菅林小屋 <もり

23日 5:35 小屋発
6:45 取付
9:15 コンテをへ2) 7P.
上部取付) 3P. はれ
10:05 終了

最後のピッチがとくに3く。

おそ3しかた。

11:05 北尾根最低点 <もり

11:50 奥又本谷との出合 <もり

12:45 Tokusawa

内面登攀にはなれてないため ちょっとしんどかった。

でも、フリクションもよくき 乗しかった。

(カドヤ)

北ハッ 稲子岳南壁

L.フジイ, イノウエ, シモダ

マルヤマ, オカモト (大アライ沢が中止になり、
合流)

9/23 伊那を、田辺さんの運転する車と。

丸山さんのジムニーで出発。

1:45 @ 稲子湯上部の林道

2:50 @ ミドリ池のTS着 (2)

と

9/24 雨のため "沈" (しかし昼頃雨がやんだ)
- 瞬をついて南壁視察 (取付まで)
見るからにも3きうな岩である。

9/25 雨のため登攀断念
7:20 T.S 発
8:20 中山峠
9:20) 高見石小屋付近
45)
11:00 シブの湯
バス = 電車 \rightarrow 松本
伊那

今日はたぶんあもしろい出立となり。南壁は登山できなかったが、
キャンプ場まで"で"楽しかった。らびを小屋で飲んだ
ひきたてコーヒ-はおいしかった。(下田)

中ア縦走 9/26~27

大前、木谷

9/26 8:55 @ 内、萱
9:40 @ 桂小盛場
11:37 @ 小樽小屋
3:03 @ 駒ヶ岳頂上
3:30 @ T.S

9/27 1:35 @ T.S
2:25 @ ツ 千畳敷

台風のおかげで さんざんおめには会った。
今後は絶対に中ア全山縦走をやりたい

(大前)
(3)

後立山縦走

日程) 1% - 1%

member) L, 保科, 大前, 福本, 部外走3名

記録) 1%

◎ 7:00 扇沢

◎ 10:30 種池

◎ 12:30 冷池

風が冷たくて寒い!

10/9

◎ 10:05 T.S

◎ → ◎ 11:00 rest.

◎ → ◎ 12:00 冷池 疑似好天にたまされた。

10/10

6:00 ① T.S

12:20 ① 五竜岳

1:20 ① 唐松山荘 予備

1日中、いい天気には恵まれた。

10/11

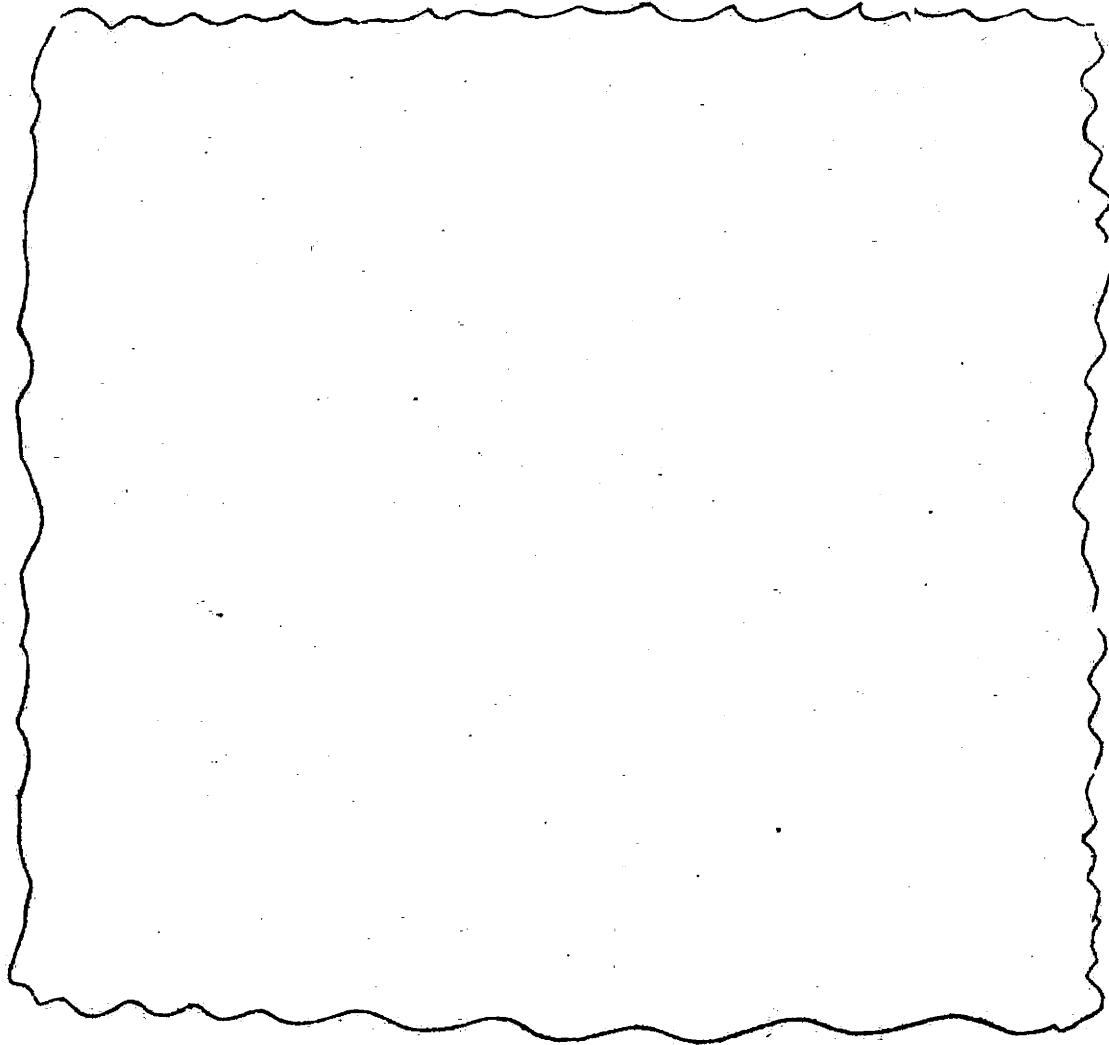
7:45 ◎ T.S

9:45 ◎ 黒ひし, 不帰を前にして下山

感想) 晩飯はメチャクチャごーかだったのて
大満足だった。好天が1日しかなかったのは

おもしろい! (記: 大前)

このコーナーは自分の秋山の反省でも書いて下さい。



みなさん、カゼには注意ほせうネ。

○唐沢岳幕岩

Member) L. 細川 鷹取

期間) 9/29 ~ 10/1

記録) 9/29 ① 松本 ~ 七倉 14:10 ~ 宿 16:00

9/30 壁がぐちゃりぬれて沈

10/1 島山ルート

起床 5:10 ~ 取付 6:35 ~ 大チムニ一の少し下の

テラス (大広間テラスのビヒフ上のテラス) 9:40

~ 終了 12:05 (11P) ~ 下降点着 12:30

~ 右稜下降 (アソザイル 40m 7 pitch) ~

宿 14:05

10/2 山嶺ルート

取り行き 7:30 ~ 終了 15:00 (13P) ~

右稜下降 ~ 下山

感想) 島山ルート

ルートはほぼルート図どおりであったが、
島山直上へは行かずに左の方の草付きに
入った。

上部はルートがあまりわからず大チムニ一を
行く。(1 pitch 目 V A1, 2 pitch 目 IV+ A1)
大チムニ一そのものは 1m 強の幅のあきり
ぐちゃりのチムニ一。ピッチ少なく ボルト
1本確保用に打ち足す。

山嶺ルート

最初2pichはルート間違いで正規ルートの左を行ってしまったので大変ビビリまくった。

(VA1~V-A1) 2pich行ったあとは正規ルートに合流するが、スラブ(ピンはほぼなし)が快適である以外、人工かきのぬけ口等で草付まが大変悪く、心臓によくない。

(鷹取)

○白馬三山縦走

Member) L.水谷 成松

期 間) 10/1 ~ 1/2

記 録) 10/1 猿倉 10:15① ~ 白馬尻小屋 11:00① ~
大雪溪取付 11:15② ~ 村宮頂上 宿舎
15:00●

10/2 宿舎 5:15① ~ 白馬岳 5:35① ~ 宿舎

6:00 / 7:30① ~ 金置ヶ岳 8:50① ~

金置温泉 10:20① ~ 猿倉 14:00①

感

想) 秋口のため雪溪はズタズタになっていたが、巻道が完璧にふいており心配はいらない。最初白馬の駅にいったとき、ボトルを持っているのは我々のみだったため不思議と思われたが、実際にボトルを使う所は、一か所もなかった。

また、初日頂上付近は強風雨であったためテントを張るのを断念し、小屋宿とした。縦走路そのものは完璧すぎるほど完璧されており、決して迷うことはない。エッセンは山岳会の合宿の時よりかなりよいものにしたが、小屋で他のパーティーのエッセンの豪華さに驚異さえ感じた。また、頂上宿舎は普通的小屋より数段設備が整っており、ホテルなみである。
(水谷)

○中ア縦走

Member) 中村

期 間) 10/6 ~ 7

記 録) 10/6 桂小場 6:40 ◎

↓ 1時間程で野田場。ここが最後の水場。

駒ヶ岳 12:35 ○

松尾岳 15:45 ○

水場は小屋午前のつづれた小屋から千畳敷側へ5分ほど降りた所にある。

10/7 小屋発 5:30 ○

↓ 木曾側からの風が強い

空木岳 8:35 ○

↓

越百岳 11:50①

↓ 中小川への下りは山頂から北へ5分程
行った所にある。

林道出合 14:10①

中小川の下り 飛竜の滝から約10分くらい
のところに5mのくさりによる下降。以後
乙女の滝までの間に約10ヶ所のくさり
場がある。ほとんど沢下りといった感じ。
道は相当荒れている。

○奥鐘山面壁

Member) L. 細川 鷹取

期 間) 10/6 ~ 8

記 録) 10/6 ① 松本 7:30 - 樺平 15:40 ~ 水平歩道を
通って支合沢を下降 ~ 岩小屋の少し手先の
砂地 18:00 (B.C)

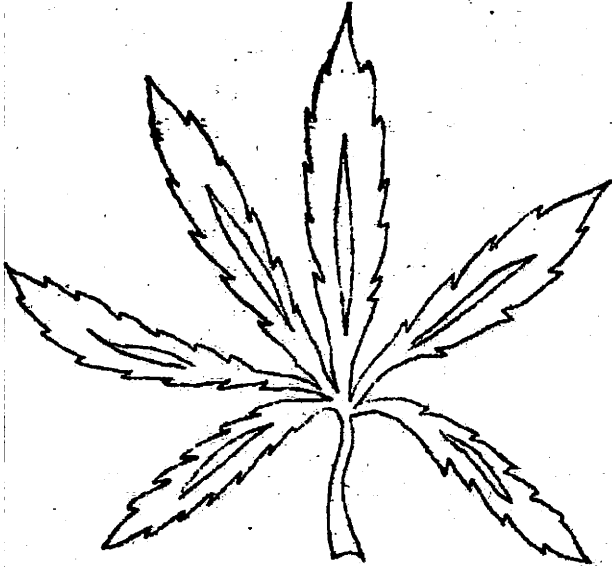
10/7 ●/①/① 中央ルンゼ

取付 12:20 ~ 終了 14:45 (10P)

感 想) 10/6 暗くなって岩小屋がどこにあるのか
わからなかった。ので防岩ダムを2pichアッ
パレンしたが、何にもなしでも行けます。
(右岸を降ります。)
水平歩道に出るまでの樺平からの垂直
歩道が一苦勞。

10/7 壁が乾くのをまって取りつく。ルース
図で“クサビの切れ目”といわれる所
の 2pitch 前からサイルを出す。
終了は断房部をぬけて屋根つき
バンドのところとした。下降は終了臭
よりアソサイルン 9pitch 程。
アソサイルンのピンは結構しっかり
しているが、下部できいていない所も
ある。核芯は、Ⅵ⁻のフリー 2pitch
(人工でも行ける) であるが、グレードは
だいたいそんなところ。
(鷹取)

MEMO



MARIJUANA PICKERS

psycho-active herbs

●大荒井沢

Member II 田沢、藤井、水谷

10/8 ~ 10

8日 伊那 — 煙の滝 — 小荒井沢出合 (T.S)
 12:00◎ 4:00◎ 5:20◎

9日 T.S — 大荒井沢出合 — 曇りの滝 — 空木産葉小屋
 7:00◎ 8:50◎ 9:40◎ 3:00◎

車でのアアロー子がかかりきいたため、当の意図では
 乗る山行では、Eが、集中豪雨のせいで、たまために
 沢が非常に増水しており大変危険なため、
 滝(曇りの滝 70~100m)ほうまで、急な急が
 出来たが、巻くのに1時間半もかかった。
 行程上の問題はなく沢登りとしては今までの
 一番、有意義なため、(水谷)

●丸山泉壁

II 細川、井上

10/22 ○ 松本 — ダム — ニルニセ 押出
 10:05 11:00

★ ニルニセ下部 取付 11:45
 終了 4:15

● 屏風岩 / ルニセ

Member II 保科, 森 10/22, 23

10/22 ① → ②

松平 - 上高地 - 横尾
12:00 15:30 17:20

10/23

② → ① とまじき あり

横尾 - 取付 7:10 - 終り (7P) - 徳沢
5:45 10:45 13:35

ルニセはルニセ通し。最後の1Pは途中から
右へ行、E (ルニセは直上)。

日かルニセの中へノかながエエす。

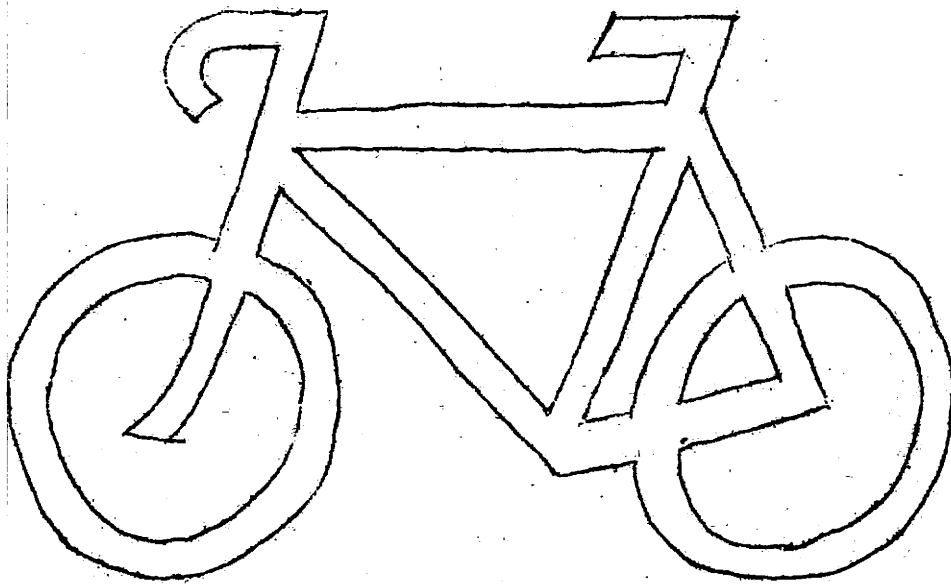
岩が冷たく寒い登りだ、E。最後の

1Pはホホロだ、Eか。あとは岩が

硬く、快活に登りだ、E。核心部は

TV+ぐらい。とれ程むずかしいことは
ない、E。

by 森



SUPER BICYCLE

(15)

明星山 岩のぼり大会

10/30 左フェース L+から 坂中 坂上

8:30 取付 ◎) 6P
16:00 終了 ◎

- 1P かなり気味のこに死右土
- 2P)
- 3P) バンドモ左上
- 4P)
- 5P)
- 6P) フォッシュヨリ

陽のぼり強し 登りは寒かった by 坂上

10/30 左岸種 Lホリカワ 尾 三ツタニ

7:40 T.S 出発
7:55 取付
終了 1:30
5:15 T.S

1	TU ⁺	15m
2	TU A ₀	30m
3	A ₁	35m
4	TU or TU A ₀	60m
5	T ⁻	40m

5P目は松の木テラスより左土ラバーズでかき登り
正視のルートを使う 松の木テラスより凹角気味の
壁を直登していた 比較的巻出っかじっていた
が 木ノ丸が スクン が小さく楽しかった
3P目は このルートの松心 部と云えろ戸付
この1周半だけで30分位かかった ルーティング不満足
by 三ツタニ

10/31 P5 末端壁 夏のスライソ
L木の 木取 かん

7:30 取付 ○) 4P
12:20 終了 ◎

13:15 取付 11時 ◎ → 11時 2p. som

取付 難い 補正

初物の4は木が多くて ありおと(3本)

1本 A.で 登った 木取が つかれ

早く 気をつけよう

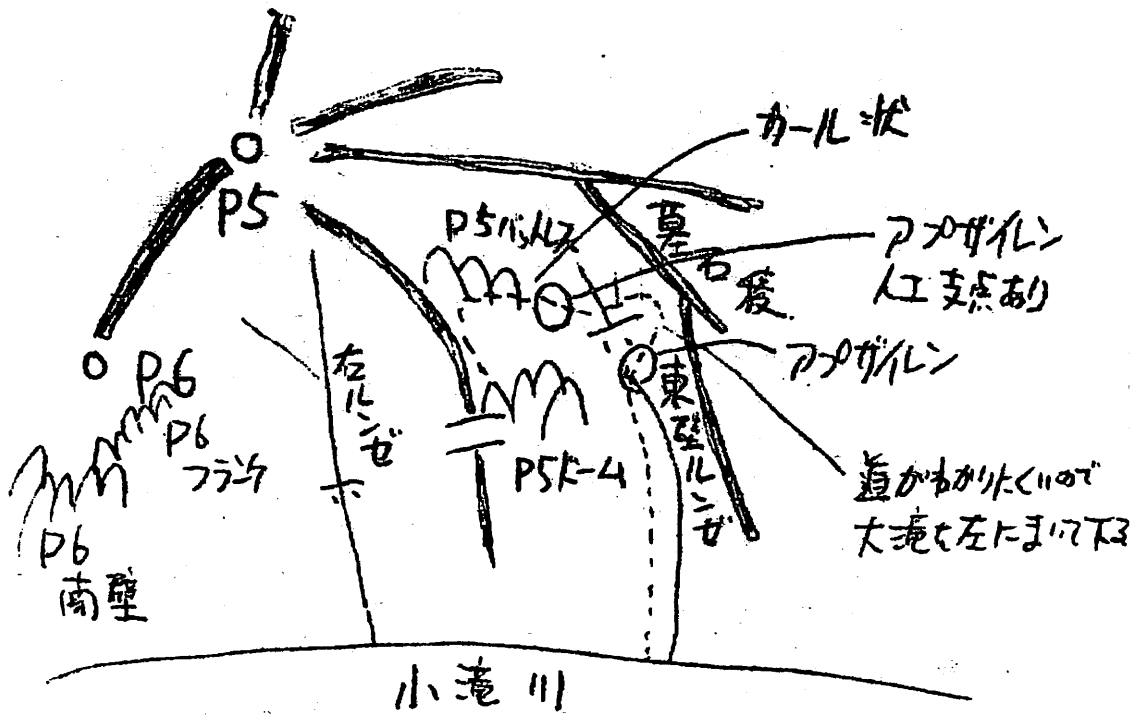
by かん

10/31 P5 11セ 扶壁ルト
Lから 下田 ミスタニ

6:30 T.S) 6P
8:25 取付

12:25 終了 (ト-4の頭)

- 1 30m
 - 2 40m
 - 3 40m
 - 4 30m — 11セのルトより上の5セ 直上(12) 30m ほど
 - 5 30m
 - 6 30m
- No 1の2セをたから No 2の2セは 直上(12) ほど



各ピ.4のプレートははまり初めだが 全体として皿くさっている
 岩がもろく危険なため by ミズタニ

11/1 P6 正面壁ルート

6:45 TS
 7:05 取付 ぱれ
 7:15 日かあたらす寒い

8P
 最初 4P へ
 A₁, A₁, A₀, A₁, A₁,

13:15 終了 左岩稜ルート、7月時。

14:25 TS

最初のピ.4がしんどかった。人工のトラスはアブミ

の回収に喜んだ。土曜日は by かつや

11/1 左岩稜 Lタカリ 木エ シタ

6:55 T.S

7:10) 取付 日があはさないと ちやぶる。い。

7P

13:15 終了 正面壁 パーティーと遭遇

14:25 T.S

A₁ のアブミ かけかえのと=3で、
慣れてなかったのか 時間をくった。

僕は本番が初めてなので、
あまりにも キンチョーし、ハラハラ
ニヤニヤ 笑った。

下降路は ともよく 下るるので
注意して くだりましょう。

(記 = 下田)



頭が 薄いので、
こんな文しか 書けませんでした。

11/2 直上ルート L木ヤカワ 夕かたり

取り付き 10:20) 3p
終了 12:20

河原 12:40

1p 頂上 2p 頂上 3p AI

全体的に浮いた岩が結構あり

時間もおきかたの 3p で 終りより 下降 40m

下降のピンは あり

3p で おか 和 疲 果 てる (おきかた by 下かたり)

11/4 〇左入-入 L木ヤカワ 夕か-OB

左入-入取付 7:40

4p 登り 直上ルートに到着

河原 10:20

〇直上ルート L木ヤカワ 夕か-OB

直上取付 10:45

2p 登り 到着

河原 12:00

〇正面直取付 12:15 L木ヤカワ 夕か-OB

1p 登り 到着

河原 2:45

○清水RCC L木ヤカク 加-08

清水RCC 取付 3:06

2中登りアゴヤカク

河原 5:00

T.S着 5:30

[清水RCCについて]

最初 乗越のフェースを人工で10m程登り取
たか 出たしかV程度。人工のピンも甚くて
何となく不安。次に右斜上するブシの生括バタ

の所に行く。しかし所々頭土かかかぶき
ほり出されたりなると。ピンも甚く非常に緊張
させられた(下) バタ杖の右端より腕11

4mこーと5m登りボルト4本のフェースに着き

こよりから70mゲイルン法。このルートは初登以来あまり
登られずにいたがピンが非常に不安定であった。岩も
もろくブシもあり 杖さしは言いかた。このルートは
行かないほうがいいでしょう。 by 木ヤカク

S.A.C.[®]

発行者 信州大学山岳会

長野県松本市旭 3-1-1

印刷所 医療短期大学自治会室

1984.1.19